

肝臓-7

がん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の
切除不能な肝細胞癌

【肝細胞癌】サイラムザ単剤療法 患者プロトコール

催吐リスク
最小度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース 14日間 コース制限なし 《開始時基準 PS:0~1・年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1	—	
プレメディ	H ₁ 受容体拮抗薬(ポララミン等)+生食100mL		Day1	30分	
①	サイラムザ : 8mg/kg ----- 生食(250-サイラムザ投与量)mL	mg	Day1	1時間 (注1)	
フラッシュ	サイラムザ投与終了後、ルートキープ用生食でフラッシュを行う。				

(注1)サイラムザの投与速度は25mg/分を超えないこと。

佐賀大学医学部附属病院